

過去の会議資料(防災関連資料抜粋)

目次

第2回 会議資料(水害と治水事業の沿革)

既往洪水の概要	1
平成4年洪水被災状況	8
平成18年洪水被災状況	12
治水事業年表	14
これまでの治水事業	15
治水事業による成果	16
河道の変遷	17

第3回 現地視察資料

たんぼぼ公園(平成15年8月氾濫状況)	21
豊城築堤	22
有明地区	23
穂別川沿い公園(平成15年8月氾濫状況)	24

第2回 会議資料

発生年月	原因	雨量 (mm)	鶴川地点 流量(m ³ /s)	被害等
明治31年9月	台風	不明	不明	胆振支庁の勇払・白老・幌別・室蘭の4郡に被害。鶴川死者31人、流失家屋160戸
明治37年7月	台風・前線	不明	不明	道路冠水深0.9m
大正11年8月	台風	苫小牧83 (日高村 270)	3,600	胆振支庁管内、死者8人、行方不明2人、負傷者1人、家屋流失61戸、同浸水1,614戸、田浸水1,900ha、畑同3,464ha
昭和10年8月	台風	不明	不明	死傷者13人、流失家屋14戸、浸水家屋199戸
昭和25年	鶴川改修計画(鶴川:計画流量3.600m ³ /s)			
昭和30年7月	低気圧・前線	日高85	不明	穂別町上和泉地区・鶴川町有明地区・米原地区一帯氾濫。穂別町死者2人
昭和36年7月	前線	鶴川45	1,034	鶴川町床下浸水30戸。穂別町死者2人、負傷者2人、家屋全壊1戸、家屋流出1戸、床上浸水2戸、床下浸水27戸、農地被害12.0ha。占冠村死者1人、行方不明1人、床上浸水25戸、床下浸水80戸
昭和37年8月	台風9号	163	2,685	鶴川町床上浸水39戸、床下浸水328戸、田被害7.0ha、畑被害1.5ha。穂別町死者1人、家屋半壊4戸、家屋流出4戸、床上浸水105戸、床下浸水113戸、田被害21.5ha、畑被害7.5ha。占冠村死者1人、行方不明2人、負傷者1人、家屋全壊8戸、家屋流出12戸、床上浸水230戸、床下浸水72戸、畑被害120.0ha
昭和42年	鶴川水系工事実施基本計画(鶴川:計画高水流量3.600m ³ /s)(昭和63年に一部改定)			
昭和50年8月	台風6号・前線	129	1,929	鶴川町床上浸水3戸、床下浸水22戸。穂別町床上浸水12戸、床下浸水32戸。占冠村床下浸水8戸
昭和56年8月	前線・台風12号	164	1,562	鶴川町死者1人、家屋全壊1戸、床上浸水12戸、床下浸水77戸、田被害0.5ha、畑被害7.0ha。穂別町負傷者1人、床上浸水2戸、床下浸水6戸、田被害20.0ha、畑被害4.3ha
平成4年8月	台風10号・低気圧	188	2,991	鶴川町床上浸水6戸、床下浸水39戸、田被害10.35ha。穂別町床上浸水16戸、床下浸水78戸、田被害93.29ha、畑被害5.01ha。占冠村床下浸水6戸
平成10年8月	低気圧・前線	182	1,773	鶴川町床下浸水1戸。穂別町床下浸水9戸
平成13年9月	台風15号・前線	214	2,773	穂別町床上浸水1戸、床下浸水2戸
平成15年8月	台風10号・前線	198	2,588	穂別町床上浸水2戸、畑被害15ha
平成18年8月	前線	248	2,358(暫定値)	浸水面積約220ha、床下浸水14戸(速報値)

注1)選定基準は、昭和36年までは「鶴川沙流川治水史」に記載の主要洪水、昭和37年以降は鶴川地点ピーク流量1,500m³/s以上の洪水。

注2)雨量は、昭和36年以前は「鶴川沙流川治水史」に記載の1日雨量、大正11年の日高村は工実に記載の雨量、昭和37年以降は鶴川地点上流域での流域平均24時間雨量。

注3)明治31年～昭和30年の被害等は「鶴川沙流川治水史」による。昭和36年～平成10年、15年の被害等は「北海道災害記録」による、鶴川町と穂別町、占冠村の値。平成13年の被害等は「水害統計」による。平成18年の被害等は洪水報告書(室蘭開発建設部)による速報値。

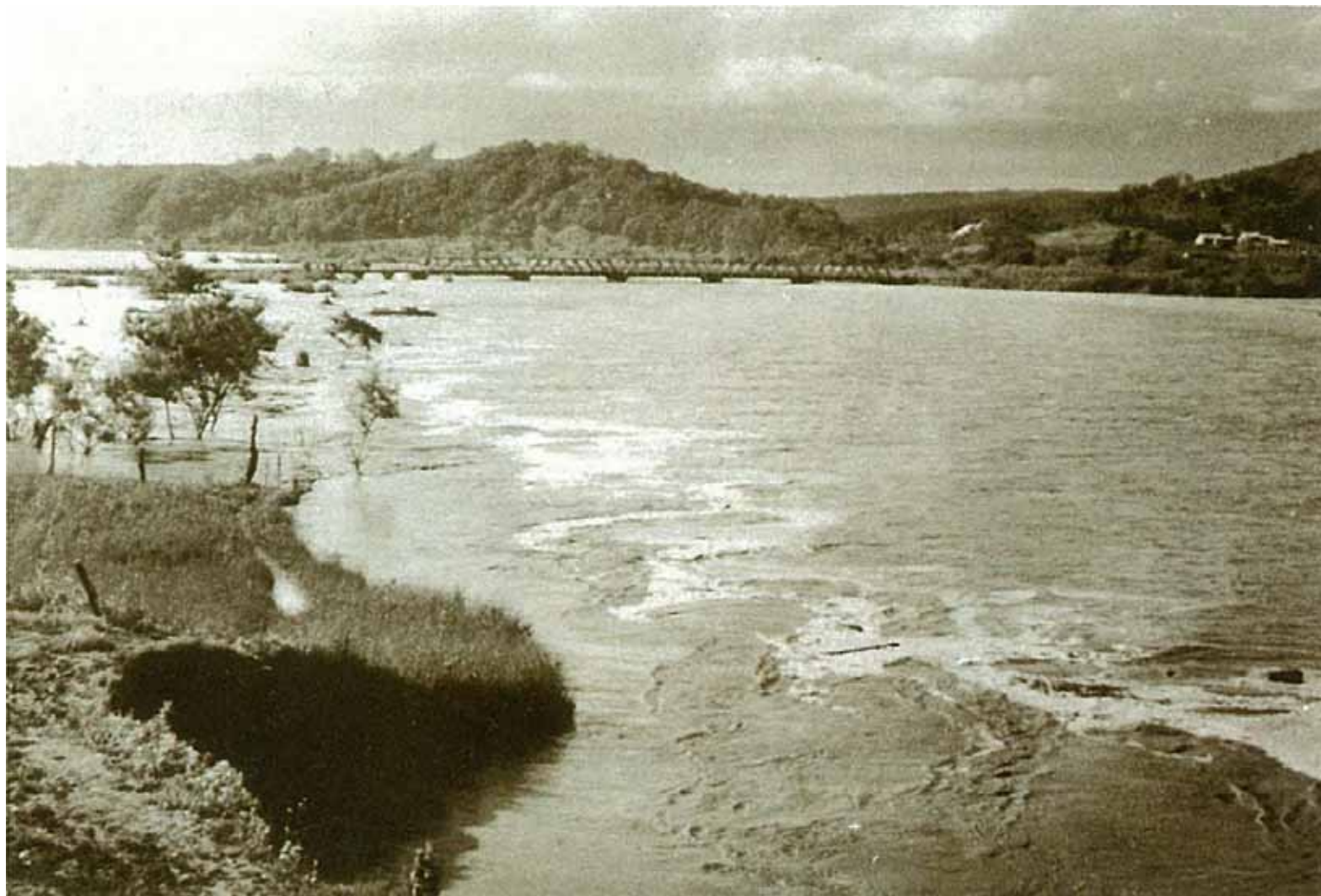
注4)北海道災害記録による被害等は集計上、支川、内水被害等を含む。

昭和10年8月



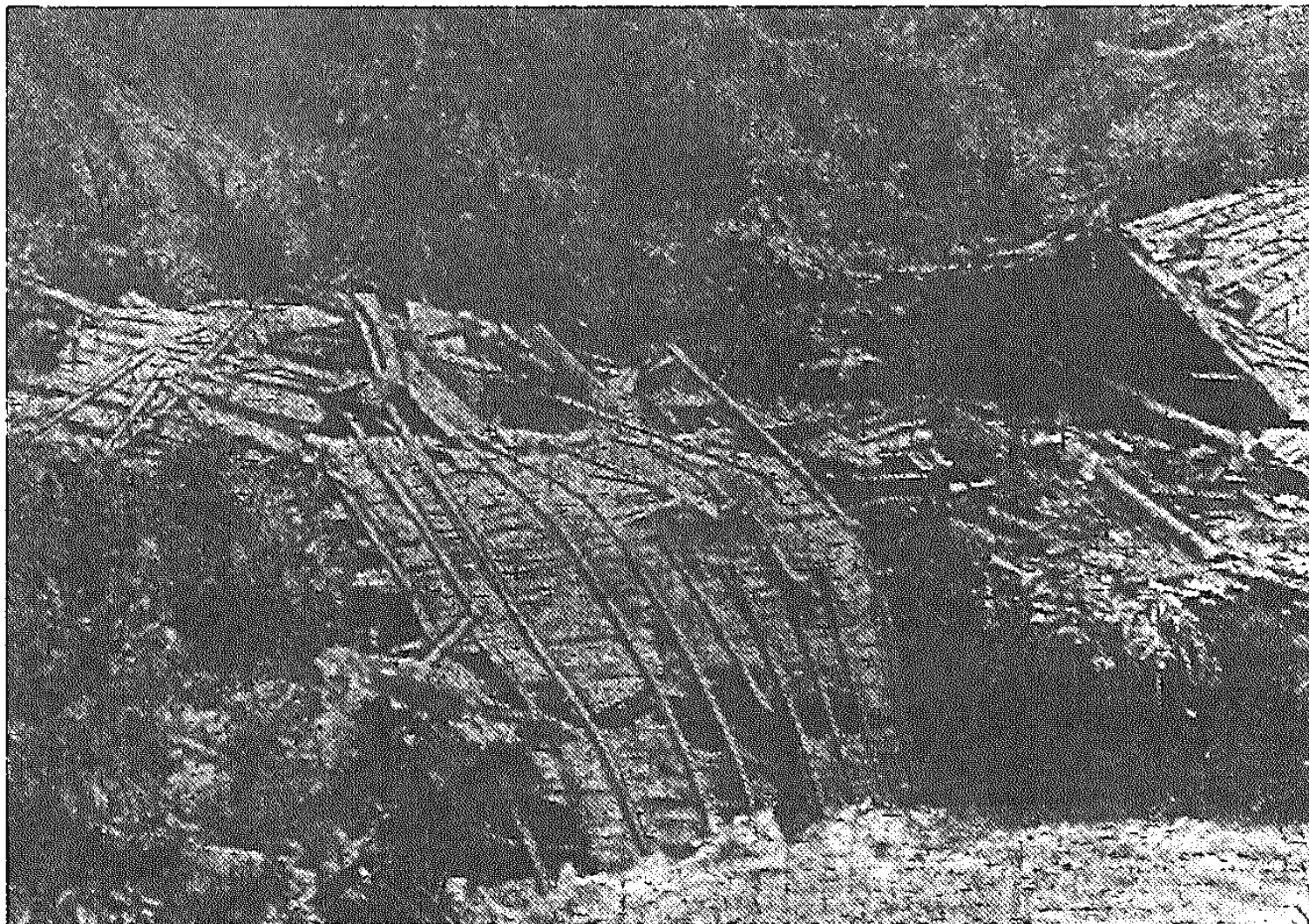
穂別村水害

昭和30年7月



米原地区春日橋取付道路冠水状況

昭和36年7月



穂別村で倒壊した飯場

昭和37年8月



いくべつ きよくせい
生鼈橋(現旭生橋)

昭和50年8月

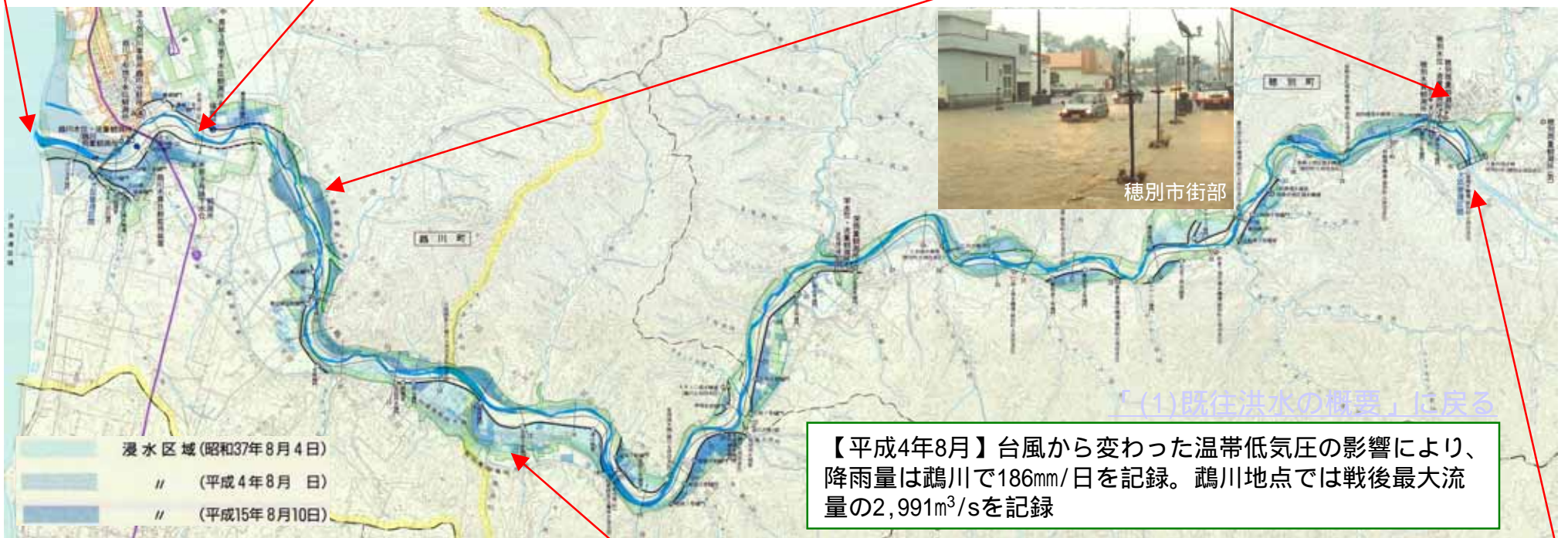


鷓川左支川珍川堤防の応急水防作業

昭和56年8月



珍川内水氾濫・汐見地区



平成10年8月



たんぽぽ公園付近

平成13年9月



道道米原田浦線冠水

平成15年8月



鷓川鉄道橋

水害と治水事業の沿革 (12) 平成18年洪水被災状況



穂別地区

【平成18年8月】
胆振地方では、8月18日未明から19日早朝にかけて、停滞前線による大雨に見舞われた。下流の鶴川水位観測所では危険水位を超え、栄水位観測所及び穂別水位観測所でも長時間にわたり警戒水位を超え、約220haの浸水被害が確認された。



有明地区

豊城樋門堤内側
シシャモ孵化場

有明築堤道道合流部



たんぼぼ公園



むかわ町市街部



年代	1900～	1910～	1920～	1930～	1940～	1950～	1960～	1970～	1980～	1990～	2000～
洪水の発生	1904		1922	1935		1955	1961 1962	1975	1981	1992	1998 2001 2003 2006
治水				1948:仁和～河口 改修工事着手 1949:仁湾沢合流点～河口 直轄改修工事着手		1955:豊城築堤 完成 1956:宮戸築堤 完成 1957:汐見築堤 完成	1966: 有明・旭 岡築堤完 成	1975: 豊田築堤完 成	1981: 豊和泉築 堤完成	1984:ル ベンベ築 堤完成	1997:河口左岸 築堤完成 1999: 突堤施工
						1950:鷺川改修計画策定			計画流量：3,600m ³ /s（鷺川基準地点）		
							1963:鷺川改修総体計画策定			1988:工事実施基本計画改定	
							1966:工事実施基本計画策定				
				1934:河川法準用河川として認定			1967:一級河川指定				
利水							1961:双珠別 ダム完成 1966:川西・川東 頭首工完成			1985:穂別 ダム完成	

築堤整備

昭和20年代以降、洪水防御等を目的として築堤工事、護岸工事が進められ、約8割の堤防が完成している。



豊城築堤・宮戸築堤



春日築堤

河道掘削

流下能力不足箇所において、河道掘削をおこない、流下能力の拡大を図っている。



穂別地区河道掘削

樋門改築

断面不足および函内クラック等発生している樋門の改築を進めている。



豊城2号樋門(改築前)

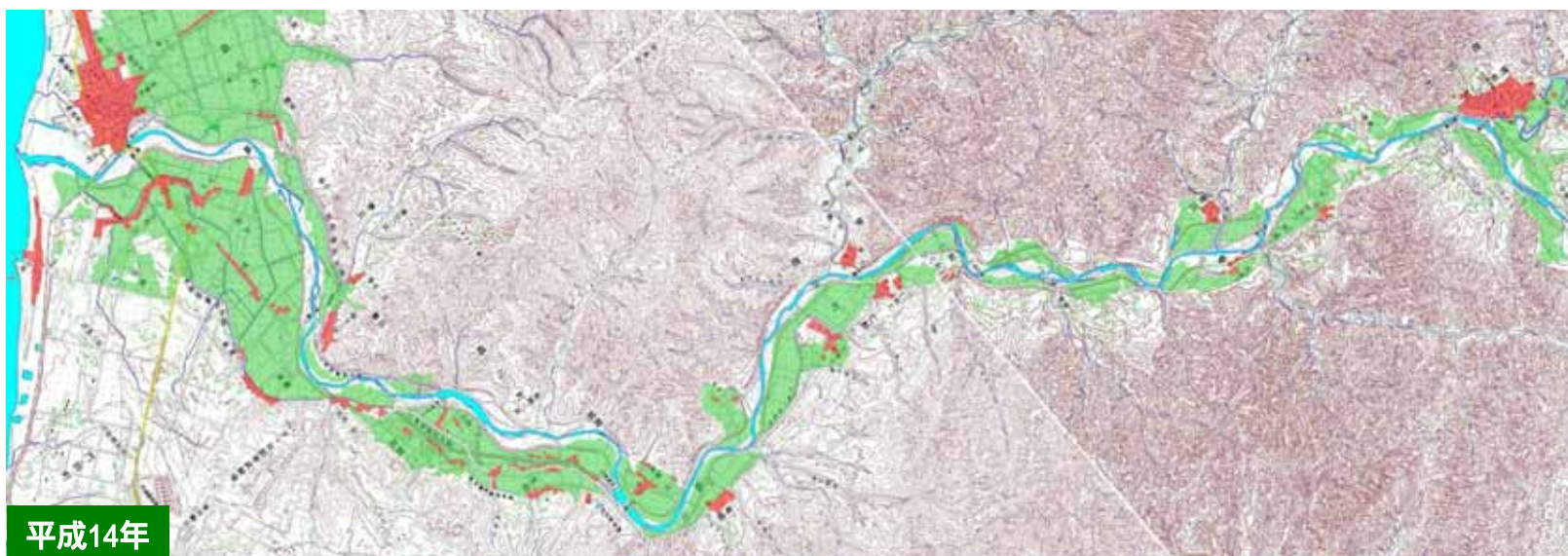
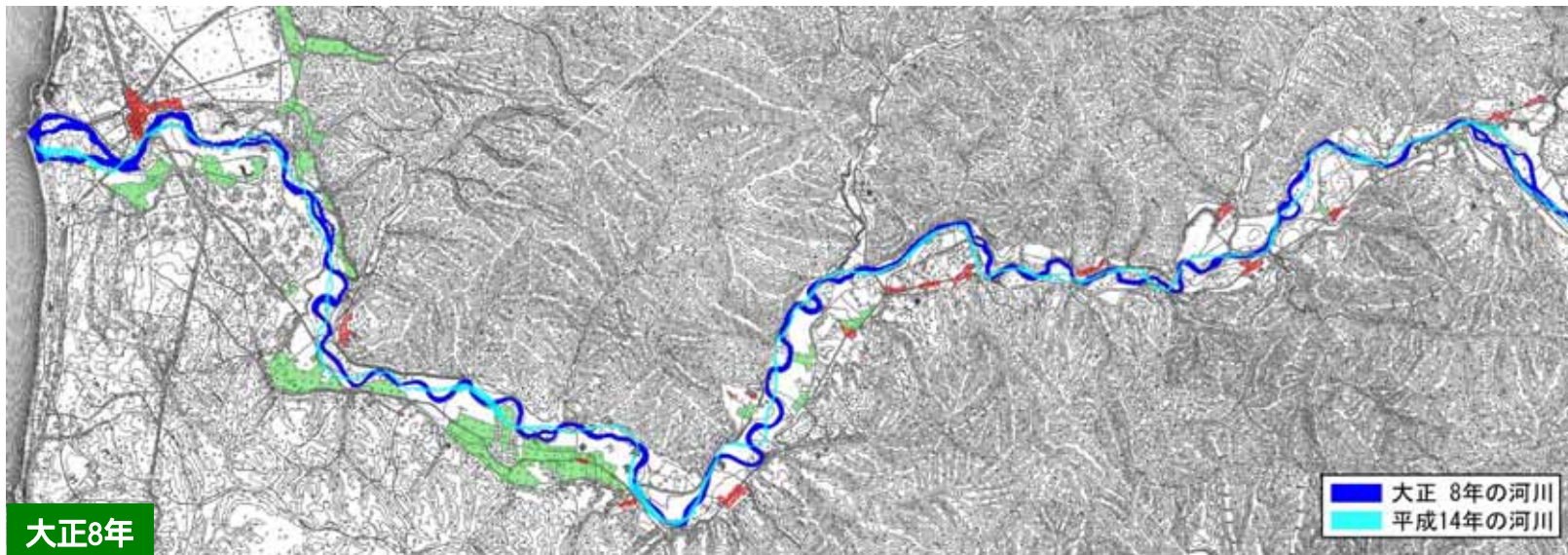


樋門破損状況



豊城2号樋門(改築後)

かつては蛇行していた鶴川は、洪水被害の軽減を目的として治水事業を進めてきた。安定化した河道の沿川では、農地や宅地が発達した。



かつて蛇行していた河道は、昭和20年代以降洪水氾濫防御を目的として築堤や護岸の整備が進んだ。堤防背後地には水田・畑が隣接し、河道内では樹林化が見られるようになった。

KP0 ~ KP5

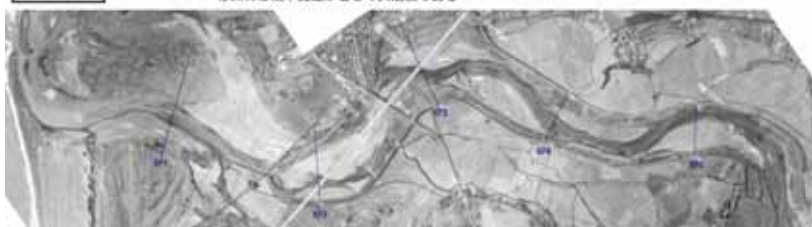
昭和22年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である
- ・河岸の堤防が未整備である



昭和42年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和58年

- ・瀬川橋上流右岸高水敷に河川環境整備事業によるタンポポパークが整備された
- ・水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・砂州上の樹林化が見られる



平成17年

- ・瀬川橋上・下流左岸高水敷に河川環境整備事業によるシヤモパークが整備された
- ・河口部に人工干潟が造成された



KP5 ~ KP10

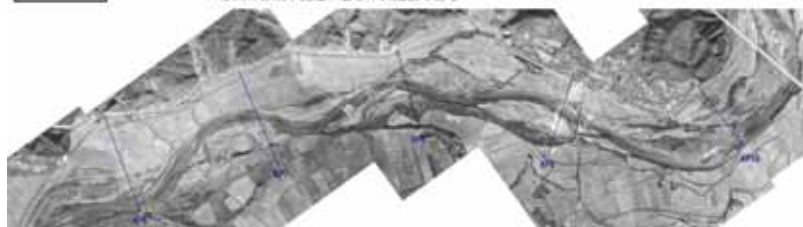
昭和22年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和42年

- ・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和58年

- ・水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

- ・砂州上の樹林化の拡大が見られる



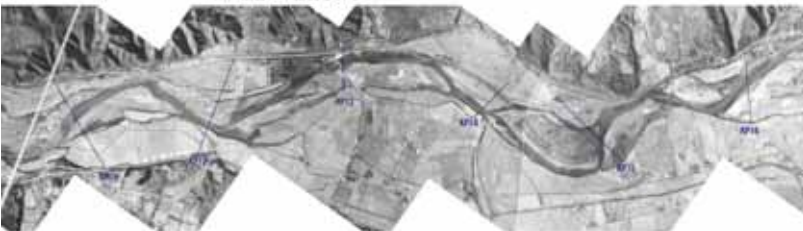
KP10 ~ KP16

昭和22年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しく大規模である
・川西頭首工が整備された

昭和58年

・分流していた水脈系が一本化
・一部に砂州上の樹林化が見られる

平成17年

・高水敷は牧草地としての利用が進んでいる



KP16 ~ KP20

昭和22年

・砂州の形成や発達著しい
・堤防が未整備である

昭和42年

・砂州の形成や発達著しい
・川東頭首工が整備された

昭和58年

・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

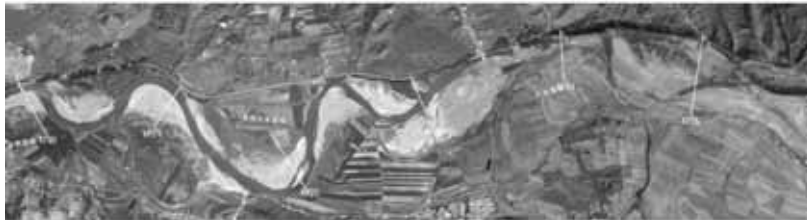
・高水敷上は牧草地として利用されている



KP20 ~ KP25

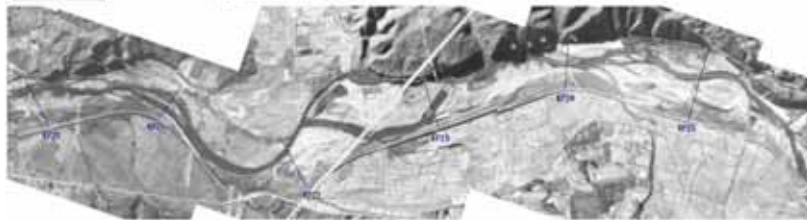
昭和22年

・砂州の発達が著しく、河道が大きく蛇行している



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

- ・水脈跡の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・砂州上の樹林化が進んでいる



KP25 ~ KP31

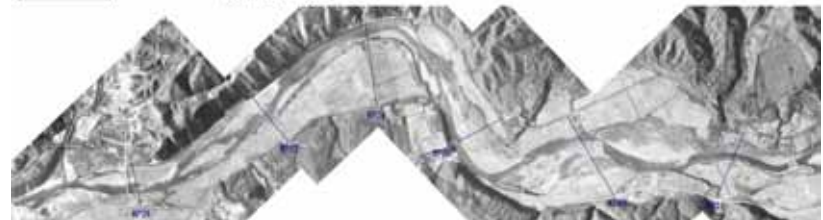
昭和22年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和42年

・砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

- ・一部に水脈跡の変動や砂州の形状変化が見られる
- ・一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

・砂州の樹林化が進んでいる



KP31 ~ KP37

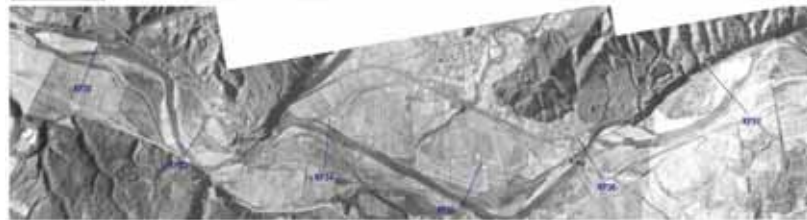
昭和22年

- 右岸に旧河道が見られる
- 堤防が未整備である



昭和42年

- 砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

- KP34 ~ 39km 区間右岸に豊田築堤が整備された
- 水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られる
- 一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

- 一部に水脈筋の変動や砂州の形状変化が見られるが、大規模な変動や変化ではない



KP37 ~ KP42.4

昭和22年

- 堤防が未整備である



昭和42年

- 砂州の形成や発達が著しい



昭和58年

- 種別橋下流左岸地区に種別築堤が整備された
- 種別川合流点付近で砂州の形状変化が見られるほかは大規模な変動や変化は見られない
- 一部に砂州上の樹林化が見られる



平成17年

- 左岸側高水敷上に環境整備事業によるリバーサイドパークが整備された



第3回 現地視察資料

たんぽぽ公園



平成15年8月氾濫状況

(参考資料 平成15年8月台風10号出水について)

鶴川では8月8日に降り出した雨が9日夕方から深夜にかけて激しい雨となり、水位が急激に上昇した。鶴川水位観測所で10日に標高5.59mにまで水位が上昇し、危険水位(4.80m)を大きく超える出水となった。



たんぽぽ公園付近の浸水状況

シシャモ産卵床

鶴川の下流部には、北海道の太平洋沿岸のみに生息し、北海道レッドデータブックの地域個体群に指定されているシシャモの自然産卵床がみられる。

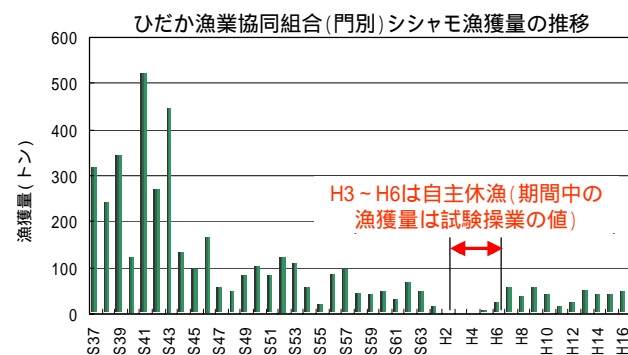


出典:むかわ町



シシャモの生態

- ・全長15cm程度。
- ・沿岸域に生息し産卵期にのみに河川に遡上。通常生後2年で成熟。
- ・産卵後の親魚の多くは死亡するが、一部は生き残り、翌年再び産卵に加わるものもある。
- ・産卵期は10月下旬～12月上旬。短期間に大群で遡上。
- ・卵は粘着卵で、0.5～5mm程度の粗砂・細レキに付着。
- ・受精からふ化までの積算水温は350。
- ・孵化時の仔魚は全長が8mmほどであり、水流に流されて海へ入る。



たんぽぽ公園のイベント

たんぽぽフェスティバル

たんぽぽの群生地であるたんぽぽ公園が黄色いじゅうたんに変わる5月下旬から6月上旬の日曜日に行われるイベント。直径5mのジャンボ鍋の豚汁など盛りだくさんのイベントが繰り広げられます。



たんぽぽフェスティバル

第5回北海道・川の日ワークショップ

平成18年6月3日、4日に“いい川づくり”“防災”“自然体験活動”をテーマに川の活動をしている人たちが発表を行いました。

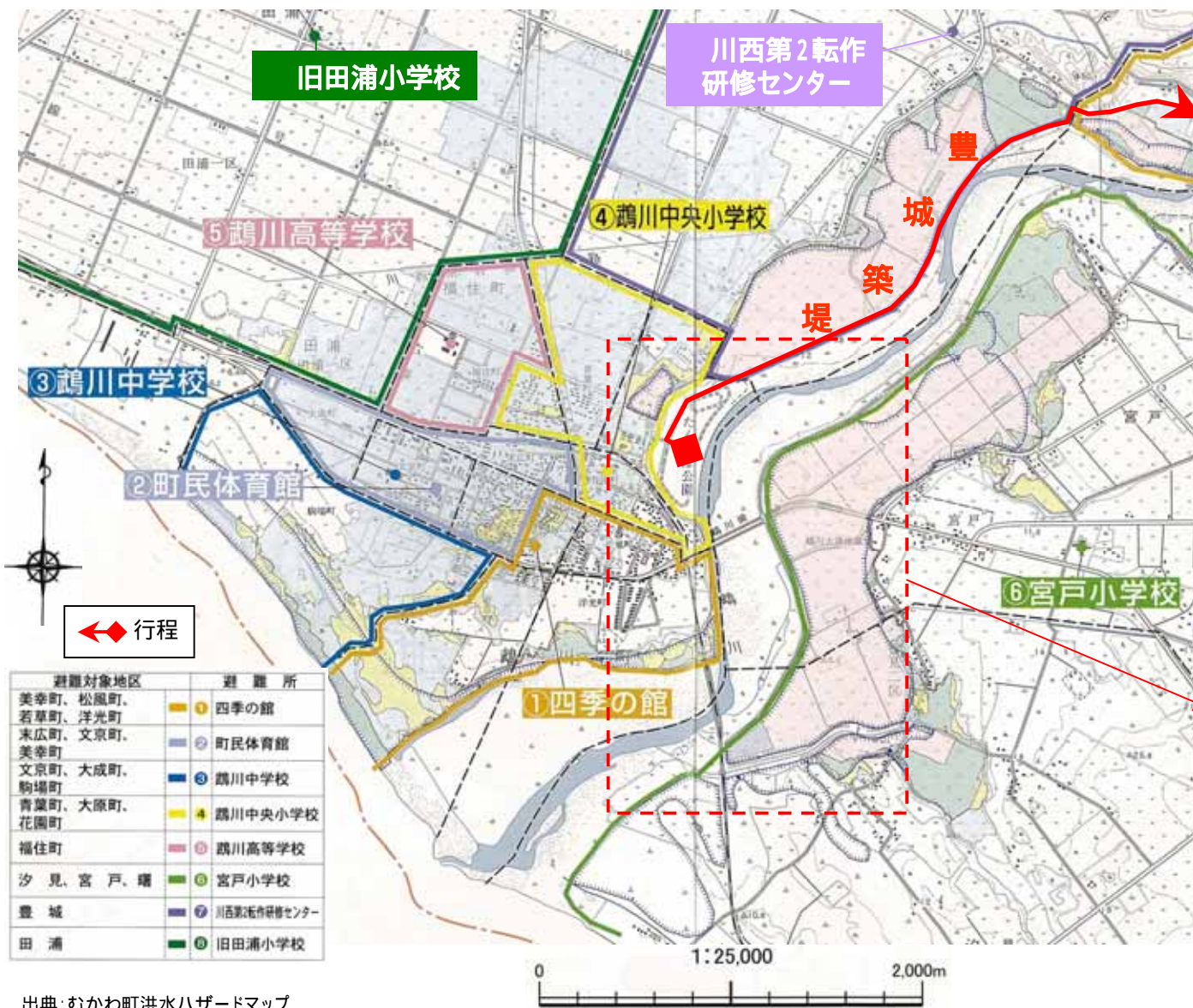
また、カヌー体験、漁船クルーズ、避難体験などの体験も行われました。

出典:第5回川の日ワークショップin鶴川案内パンフレット

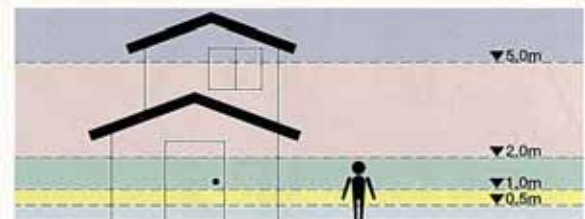


川の日ワークショップ

豊城築堤



浸水深	浸水の目安
5.0m以上	2階の軒下以上が浸水する程度
5.0m	2階の軒下まで浸水する程度
2.0m	1階の軒下まで浸水する程度
1.0m	大人の腰までつかる程度
0.5m	大人の膝までつかる程度



浸水経験のある範囲や土砂災害のおそれのある区域を図示しています。

浸水実績
崖崩れ等危険箇所
土石流危険箇所



平成18年8月氾濫状況

出典:むかわ町洪水ハザードマップ

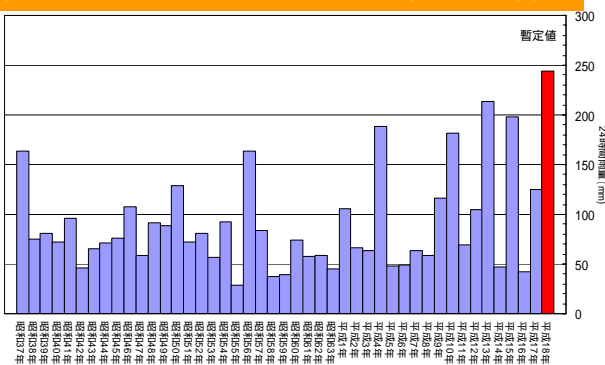
有明地区



平成18年8月氾濫状況 (参考資料 平成18年8月洪水(速報版))

平成18年8月18日未明から19日早朝にかけて停滞前線による大雨に見舞われ、鵜川では24時間雨量(鵜川地点における流域の平均)が244mmとなり観測史上最大(24時間雨量)の豪雨となった。

下流の鵜川水位観測所では危険水位を超え、約220haの浸水被害が確認された。



有明地区の浸水状況

山地の崩壊



樋門の状況



有明2号樋門呑口(オブスケ川)

穂別川沿い公園



位置図

むかわ町リバーサイドパーク

概要

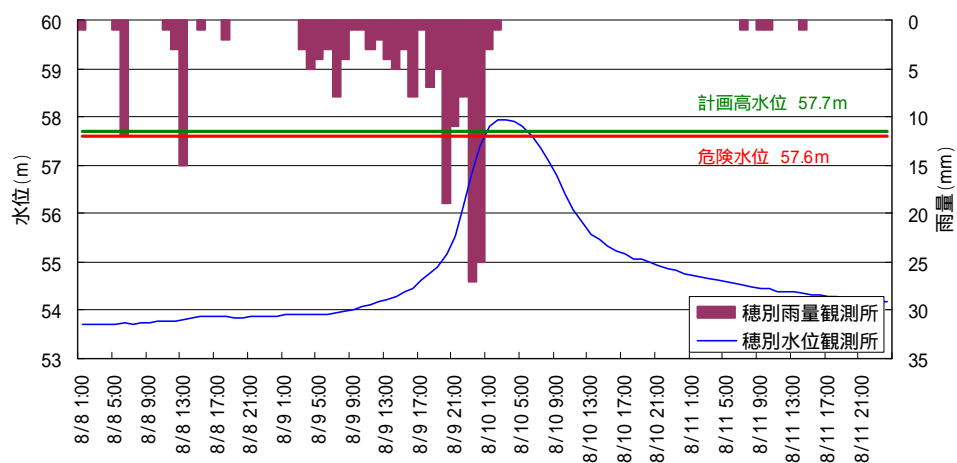
旧穂別町では「人間健康宣言の町づくり計画」(昭和53年～62年)の中で、河川緑地を利用した都市型公園、運動公園の整備が計画されました。これにより、スケートリンク、ゲートボール場などが整備されました。



リバーサイドパーク

平成15年8月氾濫状況(参考資料 平成15年8月台風10号出水について)

鶴川では8月8日に降り出した雨が9日夕方から深夜にかけて激しい雨となり、水位が急激に上昇しました。穂別水位観測所では10日に堤防の高さなどを定める基準である計画高水位を27cm上回る57.97mに達しました。



冠水した町道穂別豊田線



ポンプ車排水状況(穂別1号樋門)